事業創造大学院大学

# 

社会と大学院を結ぶ情報誌

Contents │ ●トピックス ②誌上講義 ②修了生の活躍 ④インフォメーション

TOPICS お知らせ

## 出張講演・出張講義のご案内

広報委員会委員長 里見 泰啓

#### 出張講演・出張講義を通して新潟県内企業・団体等地域の方々の 発展や豊かさの向上の一助に

大学は教育機関、研究機関であるとともに地域社会の一員でもあります。事業創造大学院大学は地域に育まれ教育、研究を充実してきました。その成果を地域の方々の発展や豊かさの向上の一助になればと「出張講演・出張講義」を企画しました。経営系専門職大学院の特色を活かした内容と、昨今の経済状況に合わせたテーマを掲げてみました。ただ、これらのテーマに限らずお問い合わせください。また、実務経験豊富な教員も多数在籍しており、講演・講義という形にこだわらずご相談ください。「出張講演・出張講義」を通して新潟県内の企業・団体等地域の皆さまとのより良い関係が築ければ幸いです。



教授 里見 泰啓

【担当科目】 ●国際経済と経営環境 ●中小企業と事業承継 ●演習 | ・ ||

早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(商学)。民間シンクタンクなどで中小企業や地域産業の振興などに関わる委託調査研究業務に従事。産業支援型NPOなどで中小企業の支援活動を推進する。日本経済政策学会、日本地域政策学会、事業承継学会などに所属し、中小企業や地域経済に関わる研究を進めている。

#### 〈出張講演・出張講義のテーマ一覧〉

※各テーマの詳細や概要に関しましては、1つのデータにまとめておりますので、お気軽にご要望ください。

#### 【出張講演】

- 1. ポストコロナにおけるビヨンド 5 G、量子技術、ブロック チェーン技術の動向
  - ~直感と論理は技術とビジネスに必須~
- 2. 顧客価値を基軸としたビジネスモデルの革新 ~バリューイノベーションの経営戦略~
- 3. ポストコロナに向けた戦略経営アプローチ ~不確実性を前提としたビジネスモデル~
- 4. 持続可能な経営モデルとデジタルマーケティングの活用
- 5. 人工知能は世の中をどう変えるか?
- 6. 渋澤栄一の生涯と思想
- 7. 女性が本当に活躍する組織をつくるには
- 8. 働き方イノベーション ~働き方改革、コロナ禍を超えて~
- 9. シニア社員戦力化のための人事戦略
- 10. ジョブ型雇用との付き合い方
- 11. 人生100年時代のキャリアと学び
- 12. 業績評価と処遇 「ジョブ型雇用」と「メンバーシップ型雇用」 における違い –
- 13. 成功するリモートワーク
- 14. キャリア自立 ~ "雇われない働き方"を目指すために~
- 15. デジタル時代とビジネス
- 16. 人工知能の基礎とビジネス利用
- 17. SDGsと新しい投融資の動きについて
- 18. 百花繚乱?「ビジネス『エコ』システム」要論

- 19. 老朽・遺棄化学兵器処理事業の動向と環境・安全技術のイノベーション
- 20. 中小企業に関するものであれば、要望に応じたテーマで講演可能
- 21. オープンデータの活用事例
- 22. オープンソースソフトウェア入門
- 23. DX入門
- 24. 企業の社会対応力としてのCSR入門
- 25. 企業の国際取引と課税:国際租税法の「これまで」と「これから」

#### 【出張講義】

- 1. バリューチェーン・リデザインの競争戦略&ケーススタディ
- 2. 最新の論文・著書から読み解く人材マネジメント
- 3. テキストマイニング超入門
- 4. ケースで学ぶ 組織文化の構築・継承・変革
- 5. 財務計画の作成 (リスクの検討、計画書の作成) 資金調達 (基本と新しい動き) 再生可能エネルギービジネスのあり方 ESG投資やインパクト投資等、新たな投資の流れ、等
- 6. ビジネスアイデア創造ワークショップ
- 7. 中小企業に関するものであれば、要望に応じたテーマで講義可能
- 8. 会計知識ゼロからの財務計画作成
- 9. 税と法:事業活動に伴うコストとしての税負担
- 10. 戦略マップの適用による非財務情報の管理

**FACULTY** 誌上講義

## システム設計論で考える新型コロナ時代の企業防衛戦略

教授 岸田 伸幸

#### 1. はじめに

経営工学のシステム設計論に拠れば、防御 のための設計原理は下表のとおり整理できる。 この原理を新型コロナ時代の企業防衛戦略に 敷衍してみる。

〈表 1 防御のための設計原理一覧〉

大分類	細分類	定義大略
予防	-	外乱を発生させないようにする
隔離	隠蔽	外乱を抹殺、または外乱を覆い 尽くす
	遮蔽	外乱が侵入しないように、シス テムを覆い尽くす
緩衝	吸収	システムに侵入した外乱による 影響を吸収または減衰させる
	補強	外乱により影響を受けないよう システムの強度を高める
代替	兼用	主装置が不能になったとき別の 目的を持つ装置で代用する
	並列	一部の装置が不能になっても別 の同一装置により維持する
	予備	現行装置が不能になったとき同 一目的の他の装置を使用する
	代償	主装置が不能になったとき、異 なる目的をもつ装置で償う

[p.117, 天坂・黒須・森田 (2008)] <sup>1</sup>

上表は「システムの防御」を前提にしてお り、本稿では「経営体の防御」に読み替える。

#### 2. 予防・隔離・緩衝

企業自体はパンデミックの予防能力がない 為、納税し、法令に従い協力し、政府の有効 な公衆衛生政策を期待するしかない。既に悪 疫が国内に蔓延する現状は、経営体にとって 新型コロナに関し予防策が失敗だったことを 意味する。

隔離には隠蔽と遮蔽がある。隠蔽策は、感 染源となる恐れがある人々を隔離し企業活動 から切り離すことである。現在、多くの経営 体で実施している在宅勤務は、社員の自宅で 完全な防疫措置は難しいため、経営体にとっ ての隠蔽策である。

他方、遮蔽策では、経営体に感染源になる 恐れがある人々が接触できないよう、経営体 の活動範囲を防護し、外部と遮断する。事業 所出入口に設けた体温検知器だけでは遮蔽に ならないが、監視員等で入構をブロックでき れば遮蔽策だ。また、事業所を隔絶した僻 地;離島などに設け、出入りを監視・管理す れば遮蔽策になる。更に、社内でワクチン未 接種者を渉外部署から外し、内勤部署へ異動 させても遮蔽策になる。

緩衝には吸収と補強がある。病原体侵入の 可能性を前提とするのが吸収策だ。マスク、 手洗い、消毒液除染、殺菌効果のある空気清 浄機などが該当する。

他方、リスクの受容を前提に、システムが 毀損されない頑健性を確保するのが補強策 だ。従業員へのワクチン接種は典型的な補強 策だ。例えば既に罹患し回復して免疫を得た 人材を採用し、渉外部署へ配置するなども補 強策といえる。

#### 3. 代替

変異株登場で流行が長引くと代替策が重要 になる。罹患や隔離で機能不全が生じないよ う補う策である。代替には、兼用、並列、予 備、代償の4種がある。なお、表1の「装置」 は各社事情に応じ適宜読み替えて欲しい。

別の目的をもつ人員で補うのが兼用であ る。単純な人手なら別部署からの応援が兼用 なので、社内の派遣計画を準備したい。役職

> 者なら下位代行が兼用で あり、職務分掌規程を見 直しておきたい。

特定の「部課」が機能 しなくなる緊急事態に は、遮蔽や補強を併用し つつ特命チーム等で対応 する他ない。そんな非常 時の社内ルールや要員確 保を検討しておきたい。 その際、複数のエリア本 部とか、東京本社と大阪 本社があるとか、機能が 同等の組織が複数あれ

ば、機能が維持されている組織で対応する並 列策がある。業務量増大や業務上のローカル 差異が問題化しないよう、予め並列時の能力 増強や業務標準化を検討しておきたい。

技術や技能を担う「チーム」がダウンした 場合に、同等の技術や技能ある人材を別部署 や協力会社等から動員するのが予備だ。緊急 時に迅速に対応できるよう、予め組織横断的に 予備の必要性と動員能力を調整しておきたい。

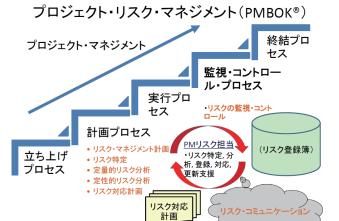
以上の対策でも、経営活動を維持できない場 合に備え代償策は準備される。業務や役務の 停止と再開の基準と手順、顧客への補償条件 の検討、停止不可能な処理や役務肩代わりの 基準と手順、並びに肩代わり相手の選定と条件 交渉、これらに伴い必要な費用見積りと財源準 備(損害保険などを含む)などが代償策である。

#### 4. 考察とまとめ

国際化した企業ではサプライチェーン見直し が進んでいる。現時点で制限が緩い国間でも強 化される可能性を想定した検討が必要だろう。 スタートアップやベンチャーで本稿が論じた組 織的対策は難しい場合、ICT系なら遮蔽された 在宅勤務を徹底し、且つ、業務システム多重化 やバックアップ励行で業務継続を図りたい。対 面現場と不可分な中小企業では、遮蔽に近い 厳しい拠点管理をするのが現実的だろう。

要するに企業は新型伝染病対策を事業継続 計画 (BCP) やPMリスク対応計画へ盛込む ことが必要な時代になったのである。皆様の ご健康とご多幸を切にお祈りしたい。

表1:天坂格郎・黒須誠治・森田道也『ものづく り新論-JITをこえて』, 森北出版, 2008.





教授 岸田 伸幸

【担当科目】

●アントレプレナーシップ論 ●コーポレートベンチャー論

●演習 | · ||

早稲田大学大学院商学研究科修了。博士(商学)。日本長期信用銀行系VCエヌイーディー㈱で主に中小企 業PEとIT系VC投資に従事後、安田企業投資㈱でバイ オ・医療系VC投資とファンド管理業務を経験。約15 年で30社に投資し10社がEXITした。MBA取得の後、 経営コンサルタントとして事業開発、戦略、幹部教育 他で企業を支援。

## 修了生の活躍

MBAを取得された修了生に、入学経緯や大学院で学び得たこと、 今後の抱負や目標などについて語っていただきました。



#### 株式会社新潟日報社

執行役員 統合営業本部 総合プロデュース室長

#### 鶴間 尚まん

(2019年3月本学修了)

#### 【業務内容】

- ●編集から営業まで「新聞社力」を生かした総合事業展開
- ●地域の課題解決と魅力発信のワンストップ窓口
- ●デジタルツールを生かした情報発信
- ●新規事業の開発・展開

## 地域の未来を県民とともに切り拓くため 新聞社が持っている情報発信力を 最大限に生かす

#### 経営企画部門への異動が きっかけ

新潟日報社は日刊新聞「新潟日報」発行 (約40万部)を中心に情報関連事業、文化事 業などを展開する会社です。

会社でのゴールも見え始めた50歳を過ぎて、私がなぜあらためて学び舎の門を叩いたのか。きっかけは職場での異動でした。長いこと新聞記者をやっておりましたが、畑違いの経営企画部門で働くことになり、「せめて経営の基礎を理解したい」とチャレンジしました。

新型ウイルスの影響下で学生生活を送って おられる皆さんは、たいへんなご苦労をされ ていると思います。私が修了した年までは普 通に授業を受けられ、学友や先生と夜の街に 出掛けることもでき、今思えば恵まれた環境 でした。

#### 留学生たちの意欲が刺激に

ゼミでは同じメディア関連企業出身の宮島 敏郎先生から経営学の先端を学びました。若 くて優秀な学生たち、中でも異国の言葉で経 営を学ぶ留学生たちの感覚や積極性には大い に刺激を受けました。また、日々の業務や夜 の懇親会をこなしながら、修了要件をかなり 上回る単位をいただけたことは自信につなが りました。

富山栄子副学長の引率で訪れたベトナム視察も得難い体験でした。ベトナムに進出した 県内企業を訪ね、現地経営者や社員の生の声 を聞き、富山先生の指導で事業創造大学院大 学紀要にレポートを掲載することができまし た。新潟日報紙上でも連載記事を掲載し、企 業進出の一端を紹介しました。



ベトナム・ハノイに集った修了生のみなさん

#### 地域の課題解決を目指す 事業を展開

大学院修了後、総合プロデュース室という 部署に異動しました。2018年に誕生したばか りの職場です。全社の編集力、営業力を総合 し、県民や企業の課題解決のワンストップ窓 口を目指すとともに、従来の新聞社にはな かった新しい事業に取り組んでいます。 「未来のチカラ」プロジェクトでは、県内を9地域に分け、住民と膝を突き合わせながら、地域の魅力を発信する事業を展開しています。また、企業や団体のSDGsの取り組みを後押する産官学の連携組織「SDGsにいがた」準備会の設立に関わり、事務局を務めています。

#### 老若、国籍を問わず学べる 貴重な場

この春には兵庫県の会社と共同出資し、地域づくり会社「Essa(エッサ)」を設立しました。世界文化遺産登録に向け注目される佐渡市相川地区で、古民家再生を軸とした持続可能なまちづくりに取り組んでおり、いずれは県内全域での事業に拡大します。



佐渡金山周辺で開いたまちづくりイベント

さらに、健康寿命日本一を目指す情報プラットフォーム「にいがた元気+ (プラス)」を秋から、県内出身者のUIターンを促進する「(仮称) 鮭プロジェクト」を来春から展開します。

人生100年時代にあって、私たちのような 年代が老若、国籍、業種を問わず学べる場が 地方にあることはとても貴重です。修了生の みなさんと、これからさまざまな場面でご一 緒できることを楽しみにしています。



「にいがた元気+」のキックオフ紙面

## 人材育成や学び直しに「助成金」、「給付金」が活用できます

~会社を担う次代の社員育成に向け「MBA大学院」を活用する企業が増えています~

社員の能力開発を実践する中小企業の皆様へ 人材開発支援助成金

訓練経費助成45% 上限50万(1名あたり)

職業訓練などを実施する事業主等に対して訓練経費を助成す る制度です。

本学は、事業主等が労働者のキャリアアップ・能力開発を行 う人材開発支援助成金 ①特定訓練コースに該当し、訓練経費 の実費相当額の45% (一人当たり上限50万) が助成されます。

働きながら学びたい社会人の皆様へ 専門実践教育訓練給付金

最大112万円

給付

雇用保険の加入期間などの支給要件を満たしている方が、標 準修了年限の2年で本学を修了した場合、ハローワークに申請 することで本学に支払った経費の一部(最大112万円)を給付 金として受け取ることができます。

詳細は、本学までお問合わせください。

## INFORMATION

#### オープンキャンパス/MBA体験授業 オンライン

本学では、入学を希望・検 討されている方を対象に、 オープンキャンパスを開催致 します。将来起業を志す方、 事業承継者やビジネスリー ダーを目指す方を対象に広く 公開しております。是非この 機会にお気軽にご参加くださ い。(参加無料・要予約)



#### 事業創造セミナー

**゙**オンライン

今年度より年6回に渡り事業創造セミナーを開催しております。起業 や事業継承、また組織内での新規事業展開を担っている方など、本学を 修了し活躍している修了生を講師に迎え、事業を立ち上げる経緯や事業 内容の考え方など実例をもとにお話します。

**開催日** 2021年**12**月**18**日生 13:30~15:30

講師 株式会社アンリミテッド 代表取締役社長 吉田 雅一氏

講師 株式会社カーブドッチ 取締役 掛川 史人氏

## 



「人生100年時代のキャリアと学び」 ~コロナ禍で、テレワーク、ジョブ型など 働くことに関する変化が加速する中で~

担当 教授 浅野 浩美 【扣当科目】 人的資源管理/リーダーシップ論、市場調査法、演習 |

#### 2022年4月入学 入試日程

・国内第2次入試:2021年11月 6日生 (出願受付期間:2021年10月12日(少~10月27日(永))

·国内第3次入試:2021年 12月 4日 ① (出願受付期間:2021年11月9日(2)~11月24日(3))

・国内第4次入試:2022年 1月15日 (出願受付期間:2021年12月21日(2022年1月7日金)

### **開催日 2021年11月20**日生 13:30~15:30



「起業家になる・リーダーを育てる| ~組織行動論からみた

起業家・リーダーの条件~

担当 教授 一守 靖 【扣当科目】 地域フィールドスタディ、組織マネジメント/組織行動論、演習Ⅰ

#### お申込みQRコード

お申込みの方はこちらからお申 込みください。簡単な入力フォー ムとなっております。

またお電話やメールからのお申 込みも受け付けております。







オープンキャンパス

事業創造セミナー

## 事業創造大学院大学

JPress 編集·発行/事業創造大学院大学 広報委員会 〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-46 TEL 025-255-1250 FAX 025-255-1251 URL https://www.iigvo.ac.ip/ e-mail info@jigyo.ac.jp

事業創造大学院大学

#### 文書訂正のお知らせとお詫び

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り誠 にありがとうございます。

さて、同封しております本学情報誌「J Press vol.65 号」の記載内容に誤りがございました。つきましては、下記の通り訂正をさせていただきます。

ご面倒をおかけしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

謹白

記

#### <訂正箇所>

#### P.4 INFORMATION

- ・事業創造セミナー 紹介文1行目
- (誤) 今年度より年6回に渡り・・・
- (正) 今年度より年6回に<u>**亘り**</u>・・・
- ・セミナー開催日
- (誤) 2022年1月22日(土) 13:30~15:30
- (正) 2022年1月29日(土) 13:30~15:30

以上

#### ■お問合せ

事業創造大学院大学 事務局 濱田、渡邉

新潟市中央区米山 3-1-46 Tel:025-255-1250 Mail:info@jigyo.ac.jp